

魚津市立松倉小学校



地域に育まれて

本校は、明治6年に「観由小学校」「節制小学校」「稗島小学校」が設置され、145年の歴史が始まりました。分教場や分校、組合立白倉小学校などと統合を繰り返したのち、平成24年の松倉小学校と坪野小学校の統合により、現在の松倉小学校が設置されました。

松倉小学校には、1年生から3年生が人形劇に取り組み、4年生から6年生が獅子舞に取り組んできている。人形劇は、せりふや語りを行う1、2年生、人形を操作する3年生と学年毎に難しい役割を担っています。獅子舞は、一人一人が自分の役割に誇りをもち、よりよいものにしようと一生懸命練習してきています。互いに気付いたことを教え合うスタイルが定着し、教わる方も教える方も真剣な姿は、松倉っ子の特徴です。

親子と一緒に汗を流し合う下草刈りや資源回収や三世代の交流活動、一人暮らし老人宅訪問、児童は同年代だけの交流だけでは学ぶことのできない異年齢の方々とのかかわりが、思いやりややさしさを育み、人としての成長を促進しています。松倉っ子は、まさに地域で育てられています。

縦割り班活動や委員会活動、集会活動では、リーダーとして低学年の児童の世話をしたり、全校児童や地区の皆さんの前で意見を発表したりと、多くの活躍する場があります。児童が物怖じせず意見を発表する姿を見ると、これらの体験を通して、自信を育んでいるものと思います。

松倉小学校の歴史はこれで閉じられますが、松倉地区で培われた松倉の教育は未永く皆さんの心に引き継がれます。松倉地区の皆様や松倉小学校の関係の方々、そして大きな夢を抱いて羽ばたいていく松倉っ子の発展と幸せを願います。

長い歴史に幕・休校 「高野小学校」と統合

立山町立日中上野小学校



「ふるさと」を心の支えに

本校は、明治17年3月、日中上野村の民家を借用し現在の校名と同じ「日中上野小学校」として創立し、同年8月に校舎新築、11月に「明倫小学校」と改称、その後、幾度となく増改築、改称を経て、現在に至っています。校舎は高台に位置し、立山連峰や富山湾を眺めることができます。平成14年4月には谷口小学校と統合したことで、校区は広範囲になり、2年生が生活科で、ラ・フランス農家や畜産農家を見学したり、和紙作りを体験したりするなど、歴史や文化、自然、産業等、学習する材にとっても恵まれています。

地域とのつながりも深く、毎年、日中上野地区、東谷地区の敬老会や公民館行事に積極的に参加しています。3・4年生は、総合的な学習の時間に福祉施設と交流をしています。また、学校近くの農家に田を借り、全校で米作りを行ってきました。田植えや稲刈りには、地域の方や保護者等、たくさんの方々に協力いただいています。11月下旬には、お世話になった方々を学校に招待し、「収穫感謝の集い」を毎年行っています。収穫した米を炊き、学校の農園で収穫したサツマイモを食材に野菜汁を作るなど5・6年生が調理し、みんなで一緒に昼食をとります。このように地域学習や地域との交流で、地域のよさ、地域の方の生き様や心の温かさに触れることを通して、学校や子供たちが、いかに地域に支えられてきたのかを実感します。

本年度末をもって本校は休校となり、4月より高野小学校と統合します。子供たちには、地域の方のおかげで自分たちの成長があったことへの感謝の気持ちを忘れず、この地域や日中上野小学校を「心のふるさと」とし、そして、ここで学んだことを心の支えとして、将来にわたって、たくましく歩んでくれることを願っています。